

2020年度 授業計画 (シラバス)

科目名	成人看護学実習Ⅲ	科目区分	専門分野Ⅱ	授業の方法	実習
対象学年	3学年	単位(時間)	2(90)	開講時期	3年前期
担当教員: 松原 裕子 実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/> 成人看護業務に携わった教員及び臨床看護師が教授している。					
《科目目標》 1. 周手術期にある対象の全身状態の改善を図り、回復力を高めるとともに、対象のセルフケア能力を引き出し、自立へと援助するための基礎的知識・技術・態度を養う 2. ICU・ERICUにおける対象の特徴と看護の実際を知り、生命の危機的状態にある人を支える看護師の役割について考える。					
《成績評価の方法》 実習評価表に基づき評価する。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》 ① 高齢者と成人の周手術期看護 1 外来/病棟における術前看護 医歯薬出版 ② 高齢者と成人の周手術期看護 2 術中/術後の生体反応と急性期看護 医歯薬出版 ③ 高齢者と成人の周手術期看護 3 開腹術/腹腔鏡下手術を受ける患者の看護 医歯薬出版					
《授業外における学習方法》 事前学習を行う					
《履修に当たっての留意点》 1. 提示された事前課題に積極的に取り組み、実習に活用できるように理解する。 2. 事前学習をもとに、患者の個別性が理解できるよう実習記録に積極的に取り組む。 3. 患者の術後経過に応じ、異常の早期発見・合併症の予防ができるよう必要な看護について考え実践する。					
実習プログラム					
実習期間	2020年5月7日～11月27日				
時間数	合計90時間				
実習内容	1. 周手術期にある患者とその家族の心理状態を理解する 2. 患者の病態および治療方法を理解し看護の方向性を理解する 3. その人らしさを考えながら全身状態の改善を図り、回復力を高めるとともに、対象のセルフケア能力を引き出し、自立に向けての支援を実施する 4. グループで学びを共有し、周手術期にある人を支える看護の役割を考える 5. ICU・ERICUでの看護の役割を理解する 6. 看護者にとって必要な態度を身につける				